

《履修上の留意事項》1.授業資料を配付する場合には、重要ポイントなどをメモとして適切に書き留めること。
2.毎回授業後に小テストを実施するので、よく授業を聞いて理解すること。
3.授業終了後復習に際し、授業内容をまとめる習慣を身に付けるように努めること。

《担当者名》教授/齊藤 正人msaitoh@ 教授/安彦 善裕 yoshi-ab@ 教授/飯嶋 雅弘iijima@
教授/照光 真terumitsu@ 教授/谷村 明彦 tanimura@ 客員教授/越智 守生ochident@
教授/村田 勝murata@ 教授/越野 寿koshino@ 教授/會田 英紀aita@ 教授/石井 久淑hisayosh@
教授/飯田 貴俊tiida@ 教授/高橋 伸彦ntkhs@ 特任教授/三浦 宏子hmiura@ 准教授/広瀬弥奈minaniwa@
講師/倉重 圭史kura@ 非常勤講師/佐藤 結香 非常勤講師/蓑輪 隆宏

【概要】

歯学部では歯科医学に精通し医療提供者として社会に貢献できる歯科医師を育成するために、全学教育科目、専門基礎科目および臨床系科目の講義と実習が学年の進行に合わせて複合的に行われる。歯学概論では、専門基礎系科目および臨床系科目の教授内容に関する概説を聴講し、6年間で学ぶべき内容と目指すべき歯科医師像について理解を深める。

【学修目標】

- 16 佐藤 開業歯科医師として社会に貢献している実績を紹介し、その意義について理解する。
- 17 蓑輪 歯科医師として人生の目標と人間関係の重要性について学習する。
- 18 齋藤 1.生涯健康な歯・口を維持するために小児期からの口腔管理を理解する。
2.障害児（者）の現状と、口腔管理について理解する。
- 19 安彦 1.病気の原因となる病因（内因・外因）の分類について理解する。
2.全身疾患が口腔に症状を呈する機序について理解する。
- 20 飯嶋 正常咬合の定義と不正咬合の種類を理解するとともに、不正咬合が口腔及び全身の健康に及ぼす影響を理解する。
- 21 照光 どのような患者さん、どのような治療や病態が歯科麻酔による管理を必要としているのかを理解する。
- 22 谷村 歯科治療で使われる薬物を理解するとともに、歯科領域以外で使われる薬物によって口腔に現れる副作用について理解する。また、それらの薬物と生体分子の関係を理解する。
- 23 越智 噛むことと健康のつながりを理解するとともに、口腔インプラント治療の役割を理解する。
- 24 村田 1.再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。
2.骨再生処置を説明できる。
- 25 越野 噛むことと健康のつながりを理解するとともに、災害時における歯科医療の役割を理解する。
- 26 會田 老年医学について理解するとともに、超高齢社会における歯科医師の役割を理解する。
- 27 石井 口腔・顎顔面領域の感覚、運動及び自律機能の特徴とそれらの調節系について理解する。
- 28 飯田 摂食嚥下障害（食べる機能の障害）の原因や病態を把握するとともに、その対応法を理解する。
- 29 高橋 優れた歯科診療の実践のために、全身疾患への理解を深め、患者中心の視点で診療を行うことの重要性を理解する。
- 30 三浦 我が国の歯科保健データを把握するとともに、地域での主要な歯科保健対策の概要を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
16	開業医として社会に貢献できること。	● 開業歯科医師として社会に貢献している実績を紹介し、その意義について理解する。 コアカリ：A-7-1) 地域医療への貢献	佐藤 結香
17	歯科医師という職業を考える。	● 歯科医師として人生の目標と人間関係の重要性について理解する。 コアカリ：A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権	蓑輪 隆宏
18	小児・障害児（者）の口腔管理	● 口腔（機能）の発育について理解する ● 小児期における口腔管理の重要性を理解する。 ● 障害児・者の歯科治療について理解する。 コアカリ：E-5-5 小児の歯科治療 E-5-7 障害児・者の歯科治療	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史
19	病理学・口腔病理学	● 全身疾患や口腔に生じる病気の原因、発生機序など病気の本体について理解する。 コアカリ：A-5 病因と病態	安彦 善裕
20	歯並びと健康	● 良い歯並び・咬みあわせ（正常咬合）を理解する。 ● 悪い歯並び・咬みあわせ（不正咬合）の種類と口腔	飯嶋 雅弘

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		及び全身の健康に及ぼす影響を理解する。 ● 不正咬合の診断、治療に必要な基礎知識及びその治療方法（矯正歯科治療）を理解する。 コアカリ：D-5-5 不正咬合の治療 D-5-5-3 不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を理解している。	
21	歯科麻酔を知る	● 歯科麻酔が臨床で果たす役割を理解する。 ● 歯科麻酔学を学習するうえで必要となる関連学問領域について理解する。 コアカリ：D-1-2 麻酔・除痛法 D-1-2-1 局所麻酔法、 D-1-2-2 精神鎮静法 D-1-2-3 全身麻酔法 A-3-2 頭頸部の基本構造と機能 A-3-3-9 口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を理解している。	照光 真
22	歯科と薬	● 歯科治療に使われる薬物を理解する。 ● 口腔に現れる薬物の副作用を理解する。 ● 薬物の作用に関係する生体機能や生体分子について理解する。 コアカリ：A-6 生体と薬物 A-6-2 薬理作用の基本 A-6-4 薬物の副作用と有害事象を考慮した薬物治療の基本原則	谷村 明彦
23	インプラント	● 口腔インプラント治療と健康とのつながりを理解する。 ● 歯列の一部あるいは全部欠損に対する補綴治療の臨床的意義と治療手順を理解する。 コアカリ：D-5-3-3 口腔インプラントによる治療 D-5-3-3-1 口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を理解している。 D-5-3-3-8 口腔インプラントのメンテナンスの意義と方法を理解している。	越智 守生
24	再生医療	● 組織再生に必要な因子 ● 骨再生処置法 コアカリ：C-5-3 修復と再生	村田 勝
25	噛むことと健康	● 噛むことと健康のつながりを理解する。 ● 災害時における歯科医療の役割を理解する。 コアカリ：C-4 健康と社会、環境 D-5-3-2 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）による治療 D-6 多職種連携、チーム医療、地域医療 E-5-3-4-2 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）による治療 E-6-2 地域医療	越野 寿
26	クラウンブリッジを知る	● 固定性補綴学を学習するうえで必要となる関連学問領域について理解する。 コアカリ：D-5-3-1 固定性補綴装置（クラウンブリッジ）による治療 D-5-3-1-1 固定性補綴装置の意義と具備条件を理解している。 D-5-3-1-2 固定性補綴装置の種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を理解している。	會田 英紀
27	口腔・顎顔面領域の生体反応の特徴を知る	● 口腔・顎顔面領域の感覚、運動及び自律機能の特徴とそれらの調節系について理解する。 コアカリ：A-3-2 頭頸部の基本構造と機能 A-3-3 口腔領域の構造と機能	石井 久淑
28	食べる機能の障害を知る	● 摂食嚥下障害とその対応について理解する。	飯田 貴俊

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		コアカリ：E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 E-5-2) 障害者の歯科治療	
29	歯科における内科学の立ち位置を知る	- 治療を行うのは「病変」のみならず、「病をもつ人」であるということを理解する。 - 歯科診療において、全身疾患に配慮することの重要性を理解する。 コアカリ：E-6 医師と連携するために必要な医学的知識	高橋 伸彦
30	地域での歯科保健活動	我が国の歯科保健状況について知るとともに、地域歯科保健の社会的意義について理解する。 コアカリ：B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健統計 B-4-3) 保健医療情報	三浦 宏子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

前後期ともに講義時に小テスト、レポート提出等を実施し、各回10点満点とする。

・前期は、前期分の平均点を100点換算し評価点とする。学業（通年）は、前後期通年の平均点を100点換算し評価点とする。

【学修の準備】

16 佐藤 予習（30分）歯科に関する報道について目を通す。 復習（30分）講義内容について気になった点などをノートにとり、その内容について整理してまとめる。

17 蓑輪 予習（30分）歯科に関する報道について目を通す。 復習（30分）講義内容について気になった点などをノートにとり、その内容について整理してまとめる。

18 齋藤 予習・復習（60分）日常のニュースソースから小児、障害児（者）の現状を把握しておくこと。

19 安彦 予習・復習（60分）口腔に症状を呈する全身疾患の種類について調べておくこと。

20 飯嶋 予習・復習（60分）日本矯正歯科学会のホームページに掲載されている（<https://www.jos.gr.jp/about>）「矯正歯科治療について」を一読する。

21 照光 予習・復習（60分）歯科麻酔とは、全身麻酔、鎮静法、ペインクリニック、救急救命についての情報を検索しておくこと。

22 谷村 予習・復習（60分）歯科治療でどのような薬物が使われるのかを調べておくこと。また自分が使ったことがある薬物（風邪薬など）をリストアップしておくこと。

23 越智 予習・復習（60分）口腔インプラント治療に関することをネットで調べる（手術、冠および予後を中心に）。

24 村田 予習・復習（60分） 抜歯窩の治癒を復習する。

25 越野 予習・復習（60分）災害時の避難所等に関するニュース（食事や衛生環境などを中心に）をよく見聞きしておくこと。

26 會田 予習・復習（60分）高齢者医療に関するニュース（口腔健康管理などを中心に）をよく見聞きしておくこと。

27 石井 予習・復習（60分）生体の動物性機能（神経、感覚及び運動系）の概要を整えておくこと。

28 飯田 予習・復習（60分）インターネットで、学会や歯科医師会が提供する摂食嚥下障害についての記事を閲覧しておくこと。

29 高橋 予習・復習（60分）全身疾患をもつ患者の治療について、自分なりのイメージをもつこと。

30 三浦 予習・復習（60分）歯科保健に関するサイト（https://www.8020zaidan.or.jp/10th_8020/）にて事前学習しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。（社会における医療の役割の理解）

【実務経験】

佐藤 結香（歯科医師）、蓑輪 隆宏（歯科医師）、齊藤 正人（歯科医師）、安彦 善裕（歯科医師）、飯嶋 雅弘（歯科医師）、照光 真（歯科医師）、越智 守生（歯科医師）、村田 勝（歯科医師）、越野 寿（歯科医師）、會田 英紀（歯科医師）、石井 久淑（歯科医師）、飯田 貴俊（歯科医師）、高橋 伸彦（医師）、三浦 宏子（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験を活かし、幅広い歯科医療の展開を説明し、目指すべき歯科医師像の構築に寄与する教育を行っている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している